

RQ九州五ヶ瀬ボランティアセンター実績報告

1. ボランティアセンター設置までの流れ

- ◆ 4月14日1回目の地震／震度7＝益城／震度6＝玉名、西原、宇城、熊本市
- ◆ 4月16日2回目の地震／震度7＝益城、西原／震度6＝南阿蘇村、菊池市、宇土市、大津町、嘉島町、宇城市、合志市、熊本市、阿蘇市、八代市、玉名市、菊陽町、御船町、美里町、山都町、氷川町、和水町、上天草市、天草市、別府市、由布市
- ◆ 4月17日／五ヶ瀬自然学校として南阿蘇西小学校に炊き出し支援
- ◆ 4月18日／RQ災害教育センター佐々木理事長よりRQ九州設置について打診、承諾
連携＝RAC支援隊(加藤、田中、山下)、石井、高藤、川上、五ヶ瀬町(五ヶ瀬ドーム使用可能に)
- ◆ 4月19日／五ヶ瀬ドーム総務設置
連携・物資配送・調査＝山都町(蘇陽病院内体育館が使用可能に)、宮守(南区)、上村(北郷)、白水水源駅・カフェ久延毘古・柝の木公民館(南阿蘇村)
炊き出し＝AGO(阿蘇外輪山オーガニック)おにぎり1500個を御船恐竜博物館へ
- ◆ 4月20日／連携・物資配送・調査＝阿蘇・南阿蘇＝長野良市・ピカレ・阿蘇門前町商店街・内牧・阿蘇デザインファーム・下野公民館・ペンションエリーゼ／東区＝棟梁高校近くの団地
ボランティア作業＝ブルーシート張り(熊本市内)
炊き出し＝AGO・熊本市八王子団地へ矢部のおそば屋さんと連携しおにぎり350個とおそばを50食

◆ 4月21日／

連携・物資配送・調査＝阿蘇市＝永草、蘇山郷の永田さん／御船町＝小坂小学校、御船グリーンヒル／西原村＝小椋清市さん／南阿蘇村＝白水水源駅、沢津野、乙ヶ瀬の牛農家／立野地区(大津町)＝ホンダ技研体育館(おにぎり100個、混ぜ飯100パック、ドーナツ、蒸しパン)、南区＝富合小学校／宇城市＝富合小学校、小川海東地区／甲佐町＝海東ふれあいセンター／熊本市＝全国重症心身障害児を守る会熊本市部／嘉島町＝嘉島東小学校／合志市＝国立病院機構熊本再春荘

◆ 4月22日／RQ九州五ヶ瀬ボランティアセンター決起集会

連携・物資配送・調査＝阿蘇市＝乙姫、永草、ペンションエリーゼ、蘇山郷の永田さん、車帰公民館／御船＝小坂小学校、御船グリーンヒル／西原村＝西原村役場(たんぽぽハウス)、山西小学校／宇城市＝海東ふれあいセンター、らぽーと／南阿蘇村＝白水水源駅、カフェ久延毘古、栃木公民館、沢津野、乙ヶ瀬の牛農家、南阿蘇西小学校、中松小学校、チームロハス、白水保育所、両併地区／立野地区＝ホンダ技研体育館(ピカリ)／甲佐町＝乙女小学校、白旗小学校／南区＝富合小学校、木原平原地区、隈庄小学校／東区＝東陵高校、第一集会所、どん!!!と食え

◆ 4月23日／

連携・物資配送・調査＝阿蘇市＝乙姫、永草、赤水、ペンションエリーゼ、車帰公民館／御船町＝小坂小学校、御船グリーンヒル、西原村役場(たんぽぽハウス)、山西小学校／宇城市＝海東ふれあいセンター、らぽーと／南阿蘇村＝白水水源駅、久延毘古、栃木公民館、沢津野、乙ヶ瀬の牛農家、南阿蘇西小学校、中松小学校、チームロハス、白水保育所、両併地区／立野地区＝ホンダ技研体育館(ピカリ)

2. 一般社団法人RQ災害教育センターの仕組み

一般社団法人RQ災害教育センター

全国の自然学校、NPO法人エコツーリズムセンター、(株)モンベル
本部：東京都荒川区西日暮里／常駐なし、災害時に緊急対応

RQ市民災害救援センター
(東日本大震災)

RQ広島
(広島土砂災害)

RQ常総
(関東・東北豪雨)

RQ九州
(熊本地震)

RQ九州の設置までのながれ

1. 被災地の近くで、動ける仲間の地域にボランティアセンターを設置する **※発動型、動ける、なんでも出来る**
 2. ボランティアセンターを受けた団体は周辺地域と連携し救援体制を整える(人、車、資金、器具) **※30人×30人**
 3. 被災地の窓口確保、情報網の整備 **※杉田の携帯電話に一本化**
 4. 支援物資の受け入れ可能な施設の確保(行政・企業との連携)、総務設置(人・パソコン・ネット環境(auが無料携帯・Wifiルーター提供)・ホワイトボード・机・事務消耗品・食料・炊事班) **※4トン車が入る大きな体育館**
 5. 東京本部はホームページを立ち上げ、支援物資、支援金、ボランティア受け入れなどの情報を地域本部と情報共有し立ち上げる **※全国支援の窓口、ノウハウの蓄積、指導**
 6. 物資受け入れのボランティア確保、各種ルール作り(物資受け入れ・配送・情報発信・会計・心がまえ・対象者・連携団体など) **※友達の友達まで**
 7. 支援物資の受け入れ、被災地への配送 **※配送は必ず二人以上で動く**
 8. 人的ボランティアの募集(東京本部)、被災地のニーズ調査(個人・社協・他団体との連携) **※一番難しい**
 9. 人的ボランティア派遣 **※情報発信力、人間力募集プロジェクト**
- ※4/19～5/3Gドーム、5/4～6/12馬見原体育館、6/13～キャンプ場 (フェーズによって移転)**

40t分の支援物資一覧

○食料品(レトルト類、レトルト類、缶詰、離乳食など)	2560箱
○お米	2872kg
○野菜類	57箱
○飲料(水、お茶、野菜ジュースなど)	877箱
○お菓子類	156箱
○調理小物類(ガスコンロ、紙コップ、紙皿など)	61箱
○生活用品(ウェットティッシュ、トイレトペーパーなど)	1024箱
○衣類	41箱
○医療品(ガーゼ、消毒液、サプリメントなど)	43箱
○子どものおもちゃなど	12箱
○資材(ブルーシート、ガムテープ、ロープなど)	72箱

重要支援物資

【地震発生～5日後】

- すぐ食べられるもの(菓子パン、缶詰など) ○水
- 銀マット ○ポリタンク ○懐中電灯

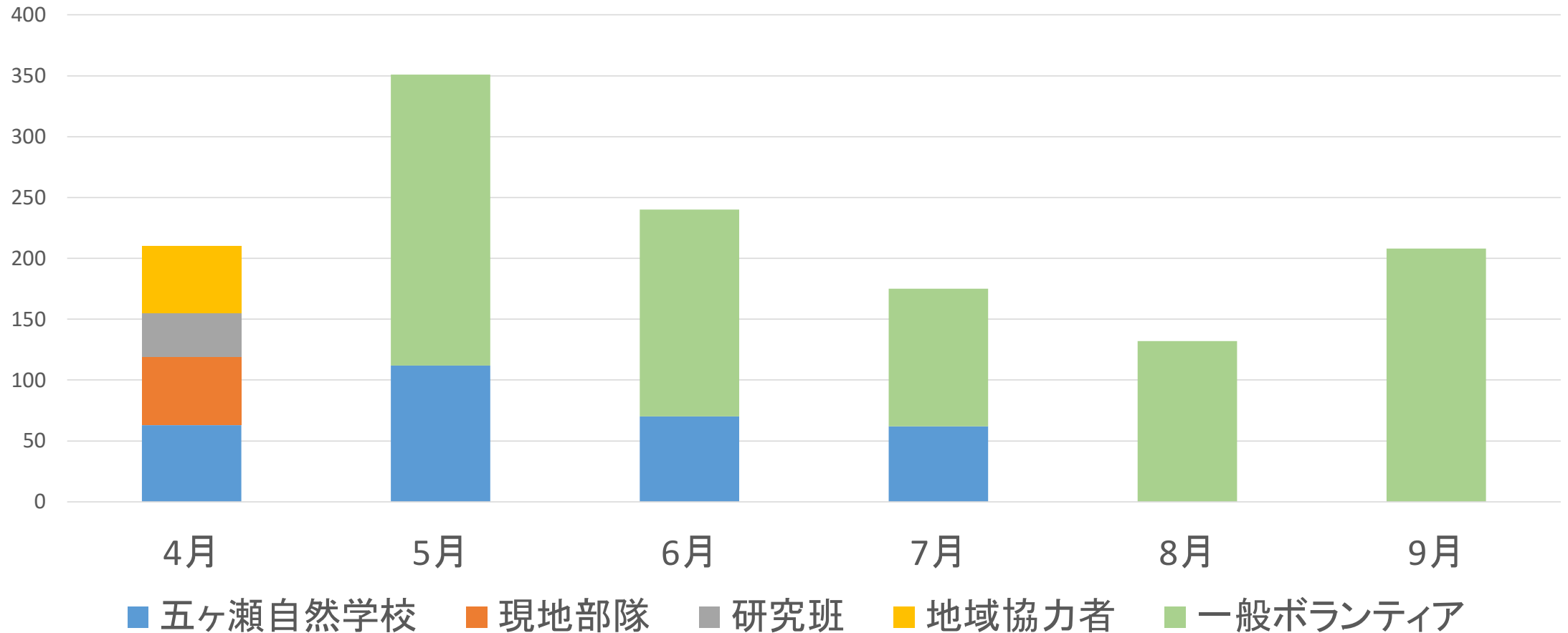
【5日～20日後】

- 水 ○お茶 ○野菜ジュース ○根菜類 ○果物 ○缶詰
- 調味料(カレールー、味噌、しょうゆ) ○インスタント食品
- オムツ(サイズに応じて) ○離乳食 ○紙皿 ○ブルーシート
- PPロープ ○土のう袋 ○ゴミ袋 ○耳栓 ○アイマスク ○マスク
- トイレ用洗剤 ○生理用品

【20日後～】

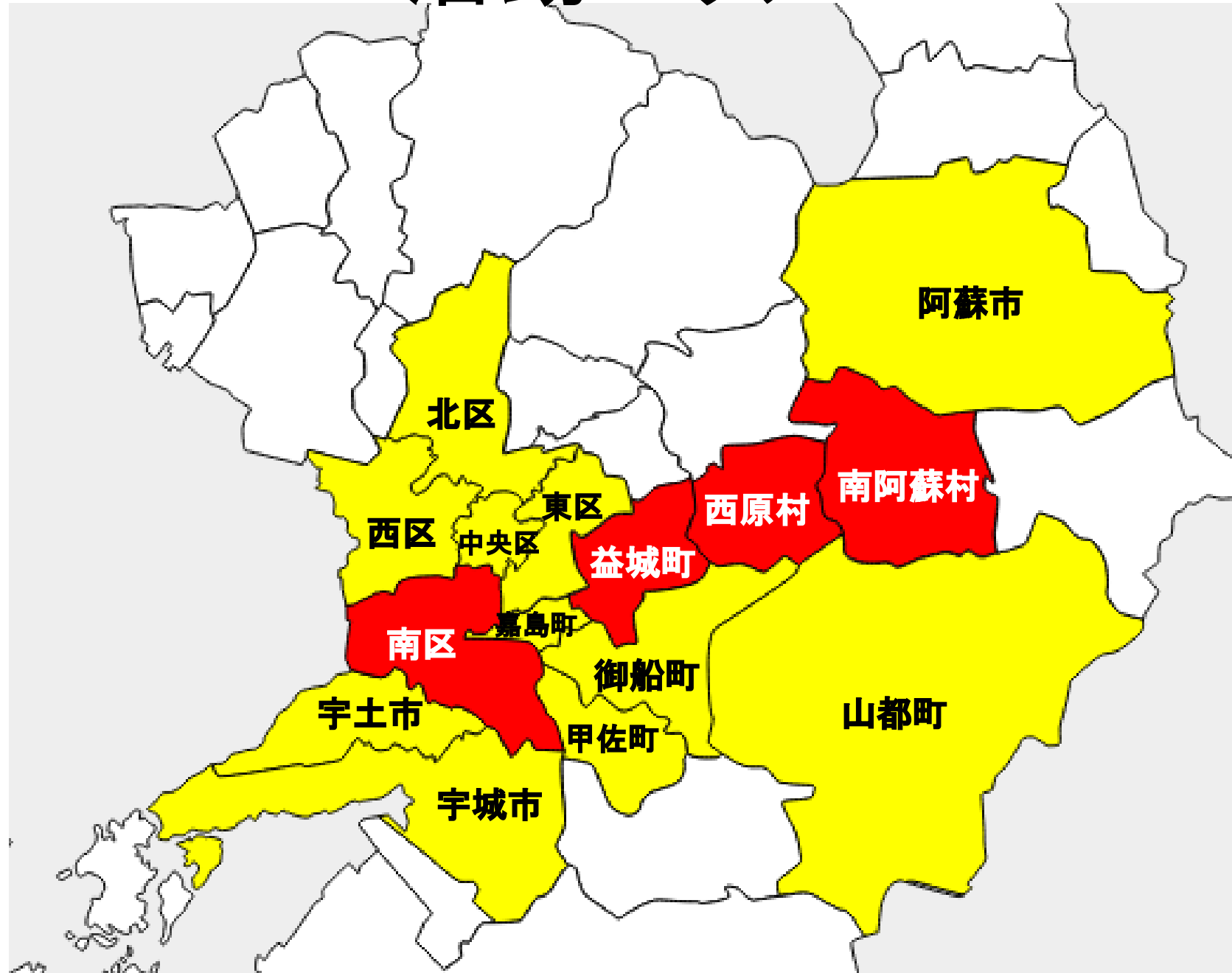
- 水 ○土のう袋 ○ブルーシート(厚手、大きい)

五ヶ瀬VCにおけるボランティア数推移



4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
210	351	240	175	132	208	1316

活動エリア



【南阿蘇村】

白水水源駅内カフェ、カフェくえびこ、栃木公民館。以上3カ所を各地区物資支援の中継拠点として支援物資提供を行う。

長陽のペンション村、下野地区の孤立避難者への支援物資提供。南阿蘇西小学校への支援物資提供。ペンション海猫屋の片付け、砂利敷設作業。

【西原村】

障害者自立支援たんぽぽハウスへの物資搬送及び、在庫商品の販路確保補助。山西小学校への物資搬送、炊き出し補助。にしはら保育園、下小森高遊原地区、万徳地区、大切畑地区、古閑地区への支援物資提供、ならびに農作業補助。個人宅でのブルーシートはり敷地内整備、草刈り等

【益城町】

特養老人ホーム「ひろやす荘」、特養老人ホーム「花へんろ」、益城町保健福祉センター、東無田公民館、益城病院、益城総合体育館、テクノ仮設団地への支援物資提供。個人農家への農作業補助

【御船町】グリーンヒル御船、小坂小学校、七滝中央小学校への支援物資提供。

【阿蘇市】門前町商店街、内牧地区、阿蘇中学校、一の宮小学校へ支援物資提供。車帰公民館、乙姫地区への継続した支援物資提供。

【甲佐町】ろくじ館、乙女小学校、白旗小学校への支援物資提供。

【熊本市東区】桜木中学校、東稜高校への支援物資提供。震災直後から炊き出し活動を継続していた定食屋ドンと食べへの支援物資及び手伝いの提供。

【熊本市南区】富合小学校、アスパル富合、富合中学校、隈庄小学校への支援物資提供。

【宇土市】市民体育館への支援物資提供、宇土小学校炊き出し補助。

【宇城市】海東ふれあいセンターへの支援物資提供。

【熊本市中央区】ヴァンパイア(バー)で夜間に日中物資配布を受けられない労働者向けに物資配布を行っているということで物資提供。熊本市総合体育館への物資配布。近藤製飴店本舗のガレキ撤去

【熊本市北区】平山泌尿器科病院への物資提供。

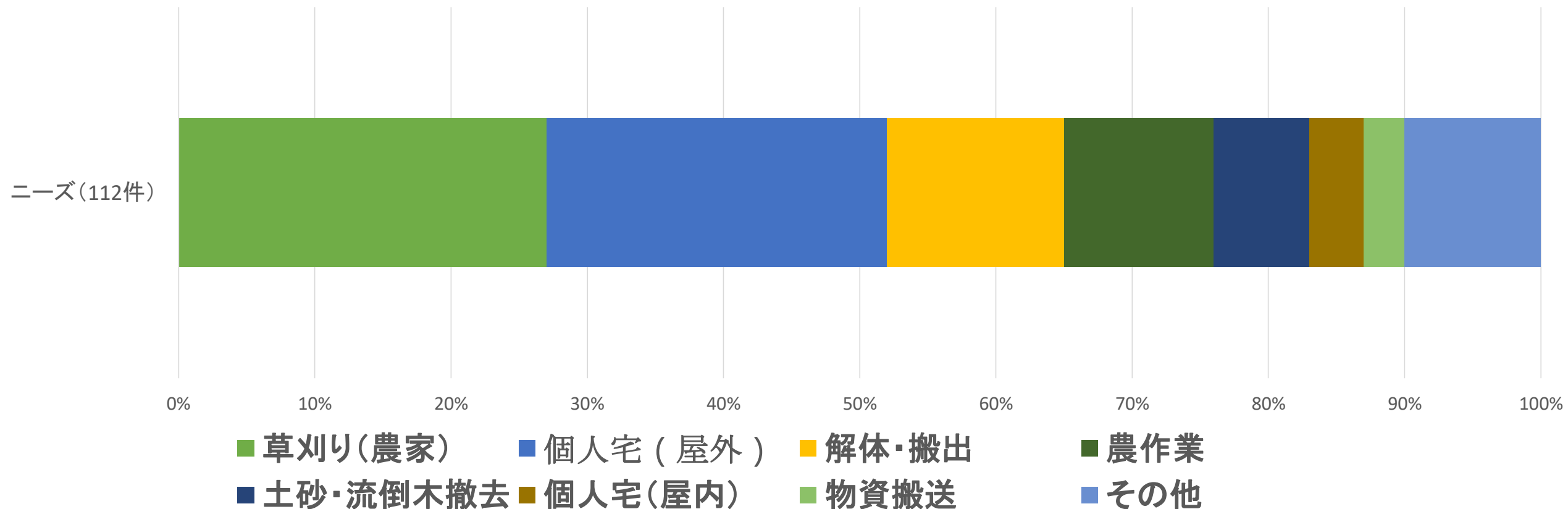
【山都町】ブルーシート張り、豪雨水害による孤立集落支援(歩道整備、土砂かき)

ボランティア依頼(ニーズ)数

	南阿蘇村	西原村	益城町	南区	山都町	阿蘇市	その他	合計
依頼数	34	45	18	9	4	1	1	112
キャンセル とりつき	4	3	4	0	0	0	0	11
作業中	3	2	3	4	1	0	0	13
未対応	2	3	0	1	0	0	0	6
完了	25	37	11	4	3	1	1	82

※5/28～9/30現在

作業種類内訳



○個人宅(屋外)・・・ブルーシートはり、ガレキ撤去、木の剪定、庭の草刈り、草抜きなど

○解体・搬出・・・農具、冷蔵庫、乾燥機、足場の搬出、ビニールハウス解体など

○農作業・・・あんず、ニンジン、じゃがいも、ブルーベリー収穫、苗植え、種まきなど

○個人宅(屋内)・・・部屋の片づけ、引っ越し

心がまえ

- 膨大な好意という恐怖との戦いである！なるべくその好意を無駄にしたいくない！
- たった今、どこかで困っている人がいるはずだ！今、何をすべきかを深く考え行動する！
- それをするとどうなるのか？どんな物が必要なのか？常に被災している現場を想像し、半歩、一歩、二歩先をリアルに描く！
- 人間とは「感覚→意志→行動→感覚…」を繰り返す動物である（養老孟司）感覚を大事にしよう！
- 行政には行政の、我々には我々の役割と仕組みがある。情報共有と協働で効果を最大に！
- 我々がやっていることは義務である！パフォーマンスはしない！
- ネットの情報は怪しむべし！自分の目を見たこと、信頼できる人が見たことだけを信じろ！

熊本復興

人間力募集プロジェクト

The Restoration of KUMAMOTO Seeking Ambitious Individuals



REBORN

<http://www.gokase.org/kf> 「熊本 人間力で検索」



gokase.org/kf/

熊本地震災害まとめ

- FBが初めて役に立った大災害、同時に課題も。
- 東日本大震災で何も出来なかったという思い。
- 目の前で倒れている人を見捨てることは出来ない。
- どの道、他の事が出来なくなる。
- 被災地では、日常的な社会課題が表面に出てくる。
例) 避難所に行けない理由、地理的な要因、リーダーの資質、受援力。
- 多くの組織が連携することで情報が共有され、継続的な支援が可能になる。

熊本豪雨災害まとめ

- コロナ禍で初めての大きな災害。
- 熊本地震以来、何も出来ていないという思い。
- 災害直後に動けるという強みと経験。
- ちょっと離れているので継続的な支援が難しかった。
- 夏の最盛期で日常的な仕事をこなすだけで精一杯。
- 友達から友達へという繋がりが作れなかった。
- 特に中間支援を行うコーディネーターが不足していた。
- 行政区ではなく、文化圏、地理的条件で線を引くべき

コロナ禍でどう動くか？

- 事前に顔の見える関係性（信頼の関係）を築いて置けば動きやすい。
- コーディネーターを派遣できる仕組みを事前に作って置く。
- オンラインツールがどこまで活用出来るか？
（ZOOM,FB,LINE,Slack,Chatwork,Instagram,HP,YOUTUBEなど）
- 行政、社協、大学、公民館、消防団、各種組合、地域づくり団体、社会教育団体、企業、神社、寺など、事前に役割を分担し、緩やかな連携を取って置く。
- 社協+第2社協+自然学校（各種組合）のハイブリット型ボラセン